

## 「『子連れ出勤』100社プロジェクト」をスタート

「子連れ出勤」制度を全国100社に広めるための情報ポータルサイトを開設。  
同制度に取り組む企業を集めた勉強会を主催します。

体験カタログ・チケットの企画・販売を手がけるソウ・エクスペリエンス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：西村琢）では、「子連れ出勤」制度を導入する会社を全国100社に拡大すべく、「関連情報を発信するポータルサイトの開設」・「企業間勉強会の実施」などを通じて今後、様々な情報発信を行ってまいります。

Good Experience, Good Life. をスローガンとする弊社では、「働く自分たちもGood Work Experienceを実践していかなくては嘘になる」という考えの下、2013年よりワークシェアなどに代表される「子連れ出勤」制度を導入し、現在では、社員30名のうち9名（常時子連れの社員は2名）が0歳からの子どもを連れて出勤する賑やかな毎日を過ごしております。（弊社の具体的な取り組みについては2ページ目をご参照ください。）

この度制度導入から約2年が経過し、会社としての受け入れ体制が整ってきたと判断し、同様の取り組みを全国100社に拡大するための「子連れ出勤100社プロジェクト」を開始いたします。

### プロジェクト内容

#### 1. 「子連れ出勤」が可能な企業の求人情報をはじめ、 関連情報を網羅したポータルサイトをコーポレートブログ内に開設

「子連れ出勤」に取り組んできた弊社の活動、弊社が主催する企業間勉強会（下記参照）の内容などを紹介いたします。

#### 2. 「子連れ出勤」に取り組む企業の見学会及び、勉強会の主催（四半期に一度）

既に同様の取り組みをしている企業、そして導入を検討している企業をお招きし、お互いの取り組みを紹介するとともに課題などを共有、解決してまいります。

政府方針にもある通り、女性の社会進出は日本における喫緊の課題であり、あわせて議論されている保育施設の速やかな拡充も必須であることは間違いありません。

ですが一方で、特に乳幼児の子どもたちを同伴して出社できる会社が社会に増えていくことは、「公的な保育施設に入れなかった」、または「乳幼児期は保育施設に預けずできる限り一緒にいてあげたいが、仕事はしたい」、そんな社会的ニーズを確実に捉えていくものと確信しています。

それだけではありません。子連れ出勤を導入することで

- 社会人経験のある優秀な女性の人材を採用できる
- 女性社員が出産や保育所不足をきっかけに退職することがなくなる
- 子育て世帯のニーズを確実に捉え、商品開発に生かすことができる

など、企業にとって大きなメリットが得られることがわかったのです。

※子連れ社員の声を活かして開発した体験ギフト「カタログFOR BABY」シリーズは出産祝いとして好評いただいています。ベビーサインやベビーマッサージなど、ママに人気の体験を収録しているほか、「移動が大変」というママ社員の声に応え、おもちゃなどのモノも選べるタイプのカatalogギフトになっています。



## 参考:弊社の取り組み内容

### 1. 子どもたちが安全に、かつ飽きずに過ごせる環境づくり

オフィスの一角に直径1.5Mのビニールプールを設置。子供達の遊び場やお昼寝の場所になっています。また、目隠し棚の奥にソファを設置。おむつ替えや授乳に使っています。子供の安全のためにテーブルの角にはクッションを設置、引き出しロックの設置などを行っています。5月より移転予定の新オフィスでは、黒板の壁やコルクの床など、より子供達の過ごしやすい環境を用意する予定です。

### 2. ベビーシッターは雇わず共同管理・共同責任

子供達はお母さんの近くや、お気に入りの社員の膝の上などで自由にすごしています。社員全員が目端で見守るスタイル。ベビーシッターがない分、お母さんがそばで子供を見られる点が好評です。

### 3. 気兼ねなく働くための給与体系

本当に子連れで仕事になるの？という疑問を持つ方も多いと思います。もちろん子供のお世話に時間を割く分業務における生産性が下がるのは事実。会社としてその生産性の差を20%程度見積もっています。現在は給与の差をつけていませんが、「申し訳ない」と恐縮してしまうママが多いため、より気持ち良く働いてもらえるよう、今後は給与の差として10%を引き、残りの10%については引き続き会社が負担していく予定です。

### 4. LINEグループで細やかな勤怠連携

子供に突然の発熱や不調はつきもの。急なお休みにも対応できるよう、人数には余裕をもって働いています。LINEグループを作成し、お休みの連絡は他のスタッフにもわかるように。子供たちのオフィスでの写真もLINEアルバムで共有しています。子連れママたちは上の子のお迎えや、子供のごはんなどのため16時~17時には退勤します。それ以降に発生する仕事をカバーできるよう、学生のアルバイトを採用しています。日中は学生が子供たちの面倒を見てくれるほほえましい光景も繰り広げられています。

## 子連れ出勤風景



(左から) おんぶでの仕事風景 / ビニールプールでのひとコマ / 男性社員も子連れ出勤

#### ソウ・エクスペリエンスについて

名称：ソウ・エクスペリエンス株式会社  
代表者：代表取締役社長 西村 琢  
所在地：東京都品川区西五反田 3-8-3 町原ビル 4F  
事業内容：モノではなく体験を贈れる「ソウ・エクスペリエンスギフト」の運営  
URL：http://www.sowxp.co.jp

#### 本件に関するお問い合わせ先

ソウ・エクスペリエンス株式会社 中井裕子・関口昌弘  
TEL:03-6431-8360/ FAX:03-6431-8361  
Mail:info@sowxp.co.jp  
※体験メニュー提供施設の取材や、販売店の取材の取り次ぎも可能ですのでご相談ください